

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	からだづくりの大切さを伝えるスポーツ食育事業
事業主体 (連絡先)	飯田女子短期大学
事業区分	信州 ACE プロジェクトの推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	379,000 円 (うち支援金: 303,000 円)

事業内容

- 第1回 11月18日(日) 受付 12:30~
【親子サッカー教室】
13:00 集合 内容 ストレッチ・ボールを使った運動・試合・クールダウン
15:30 終了・解散
【スポーツ食育講演会】
16:00 集合 内容 栄養の基本と食事バランスについて・質疑応答・試食 ※協力 マルマン(株)、旭松食品(株)
17:30 終了・解散
○第2回 12月16日(日)
【親子サッカー教室】 受付 9:00~ 9:30~12:00 同上
【スポーツ食育講演会】 受付 12:30~ 13:00~14:30
同上 ※協力 マルマン(株)、旭松食品(株)



【親子サッカー教室】

事業効果

- ① 本事業でサッカーゴールが整備できたため、地域ジュニアサッカーチームの練習拠点としての利用が大幅に増加している。保護者も含めた運動の場を提供できるようになった。
- ② 高校運動部(飯田 OIDE 長姫高校野球部、ラグビー部)からは、食事調査、体組成測定、地域(喬木中学校、とよおか総合型地域スポーツクラブ)からは、食育に関する出前授業の依頼が増えている。
2カ月のモニタリングに協力してくれた参加者は、期間中欠食はまったくなかった。また、週5回以上、家庭で夕食を摂っていた。
講演会の中で、参加者全員に食事の大切さを伝えることができた。
- ③ スポーツ食育講演会には、地域食材を扱う企業担当者(マルマン(株)、旭松食品(株))にも参加してもらった。そのため、地元企業側にも食育の意識が広がっている。

今後の取り組み

本事業をとおして、本学がもつ機能を知ってもらい、活用してもらえるようになった。今後も、地域の信州 ACE プロジェクトの拠点としての役割を担っていきたい。

長野県の強みであり、特色である「学び」を生かした本事業をとおして、様々な世代の方が健康づくりに取り組むきっかけとなる仕組みや環境づくりを推進したい。

【目標・ねらい】

- ① スポーツ食育による信州 ACE プロジェクトの拡大を目指す。
- ② 「地域の食育」のためのモデル事業とする。
- ③ 地域の食文化を通じて食事管理の大切さを広める。

※自己評価 【B】

【理由】

地域における運動や食育の拠点として、本学の利用が大幅に広がっている。一方で、事業で作成した食育冊子の完成が遅れたため、年度内には、活かしきれなかった。